

下級裁判所裁判官指名諮問委員会（第79回）議事要旨

（下級裁判所裁判官指名諮問委員会庶務）

1 日時

平成29年7月7日（金）13：30～15：25

2 場所

最高裁判所中会議室

3 出席者

（委員）秋葉康弘，伊藤眞，井堀利宏，今田幸子，岩井重一，大段亨，小川新二，
田中成明（委員長），中田裕康，明賀英樹（敬称略）

（庶務）中村総務局長，門田審議官，清藤総務局第一課長

（説明者）堀田人事局長，板津人事局任用課長

4 議題

（1）協議

- ・平成29年下半期の判事補から判事への任命候補者及び判事の再任候補者について
- ・平成29年7月期及び8月期の出向からの復帰候補者について

（2）次回の予定について

5 議事

（1）協議

協議に先立ち，退任した稲川委員の後任として小川委員が紹介された。

庶務から，前回の委員会以後の経過として，平成29年4月期の出向からの復帰候補者についての答申を最高裁判所に報告したこと，それらの候補者についての最高裁判所における審議結果並びに平成29年上半期の判事補から判事への任命候補者及び判事の再任候補者並びに平成29年4月期の弁護士任官候補者につ

いての最高裁判所における審議結果が報告された。

また、最高裁判所から、平成29年7月期及び8月期の出向からの復帰候補者について、その指名の適否について諮問を受けたことが報告された。

- ・ 平成29年下半期の判事補から判事への任命候補者及び判事の再任候補者について

庶務から、2月24日の当委員会の結果を受け、各地域委員会に対し、指名候補者について情報収集を行い、その結果を取りまとめて送付するように依頼したこと、各地域委員会では、当委員会からの依頼に基づき、情報収集及びその取りまとめが行われ、その結果が送付されたことが報告された。また、報告された情報が大部になったことから、予定どおり6月28日に作業部会が開催され、重点審議者として追加すべき者の有無についての検討及び2月の委員会において重点審議者とされた者についての検討が行われたことも併せて報告された。このほか、地域委員会における情報収集に関し、地域委員会から送付された情報の中には、弁護士会を經由して提供された情報が1件含まれていること、該当の地域委員会では、弁護士会経由の情報であっても、具体的事実が指摘され、情報提供者の氏名が明示されているものについては、情報の適格性の最終判断を当委員会に委ねることとして、これを当委員会に送付していることから、作業部会でも、弁護士会経由の情報の適格性については委員会において個別に判断されるという前提で、これを一律に排除することなく、検討資料に含めて作業を行っていることが説明された。

庶務からの報告を受けて、弁護士からの情報については、今後とも、弁護士会経由ではなく、地域委員会に直接提供されるよう、弁護士会に対して働き掛けていく必要があるが、本日の委員会においても、作業部会での取扱いと同様に、弁護士会経由の情報については、一律に排除することなく、個別にその適格性を判断することとして審議を行うこととされた。

作業部会長である伊藤委員から、作業部会では、地域委員会から送付された情報等を精査したが、重点審議者に追加すべき者はいなかったことが報告され、審

議の結果、重点審議者として追加すべき者はいないこととされた。

続いて、作業部会長である伊藤委員から、作業部会の検討結果について報告がされ、その結果を踏まえて、指名候補者69人について、判事に任命されるべき者として指名することの適否について審議され、審議の結果、いずれの者についても指名することが適当であると最高裁判所に答申することとされた。

・ 平成29年7月期及び8月期の出向からの復帰候補者について

裁判官から出向している指名候補者3人について、候補者の略歴、出向先から得た候補者の執務状況等に基づき、判事に任命されるべき者として指名することの適否について審議され、審議の結果、いずれの者についても指名することが適当であると最高裁判所に答申することとされた。

(2) 次回の予定について

次回の委員会は、9月4日(月)午後1時30分から開催され、平成30年上半期の判事補から判事への任命候補者及び判事の再任候補者について審議することとなった。

以 上